

医師 中村哲さん 追悼上映会ご報告

～中村哲さんを偲び、平和を想う～

アフガニスタンで医師として従事しながら、1600本の井戸を掘り、さらに農業用水路を建設し、砂漠化し荒廃した土地16000ha以上を緑に甦らせ、多くの命を救った医師 中村哲さんの追悼上映会を2月16日に行いました。

当日は270名ほどの皆様にお集り頂きました。

長年、中村哲さんを支援されてこられた方、ニュースで初めて先生の存在を知った方、色々な方がいらしたと思いますが、どなたも一緒に、同じ映像、同じ講演を聞いて、みんなで共有できたことが、何より意義深かったように思います。



また、たくさんの募金のご協力も頂き、参加はできないけど、募金だけでもと、託して下さった方の分も合わせて、募金 303,008円、本やDVDの売り上げ 122,070円、合計 425,078円が集まりました。この全てを、中村哲さんの支援団体であるペシャワール会へ届けました。皆さまのご協力に深く御礼申し上げます。

「医療活動、灌漑用水路事業等、総合的農業復興支援の為に活用させていただきます。」とペシャワール会から、お便りを頂いております。

会では初めに、中村哲さんの最初の赴任先の病院での映像をご覧いただき、その後、用水路を作ることになった経緯とその技術を観て頂きました。

こちらの映像は、後日、吹田市の公民館でも上映予定です。

上映後、中村哲さんと交流があった元国連高等弁務官の千田悦子さんの講演です。アフガニスタンという国の背景から、中村哲さんとのエピソード、また世界において日本がどうあるべきか！まで、幅広いお話をして頂きました。

千田さんのお話の中で、「一人で世界中の全ての問題を解決しようなんて、無理です。支援を考えるのは、きっとご縁があった事柄になるでしょう。1つでもいいから、ご縁があった課題に小さくても長く支援することが大事だと思います。」という言葉と、中村哲さんの、「自分が進んで出来ることを真っ直ぐすればいい。私もそうしてきました。」という、この2つの言葉で、目の前のモヤが晴れた気がしました。今ある状況の中で、出来ることを始めたいと思います。

たくさんのご参加ありがとうございました。【オーガニック映画祭主催 坂東武子】